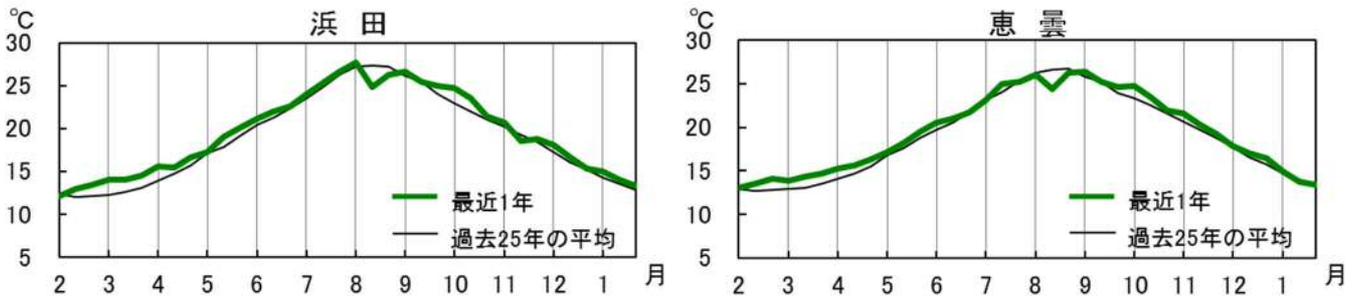




《1月の海況》



1月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	14.1°C	+0.7°C	平年並み	14.0°C	+0.1°C
中旬	やや高め			平年並み		
下旬	平年並み			平年並み		



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の3割、マアジは平年の1割でした。隠岐地区ではブリ、サバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は39.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは2,452トンで平年の3.9倍、サバ類は301トンで平年の1割、マアジは164トンで平年の2割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）では水揚げがありませんでした。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は75.2kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類が主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は14.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、アカムツは平年の2.0倍、ソウハチは平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.8倍でした。その他、イボダイは平年の2.5倍、マトウダイは平年の1.2倍と好調でしたが、アンコウ類は平年の9割、キダイは平年の7割、ムシガレイは平年の4割、マフグは平年の2割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアンコウ類、ソウハチ、アカムツが主体の漁況で、総漁獲量は167トンでした。1統1航海当りの漁獲量は852kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、アンコウ類は平年の1.4倍、ソウハチは平年の5割、アカムツは平年の1.5倍でした。その他、アナゴ・ハモ類は平年の1.2倍、ニギスおよびキダイは平年の1.1倍と好調でしたが、マトウダイは平年の9割、ヒレグロは平年の6割、アカガレイは平年の2割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、スズキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は11.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の8割、スズキは平年の1.2倍でした。石見地区ではサバ類、ブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は8.0トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の8割、ブリは平年の4.2倍、マアジは平年の1.2倍でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は7.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の1.0倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は44.5kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の7割でした。石見地区ではクロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は32.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の2.8倍でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は23.8kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の1.2倍でした。

※1月号の訂正：【釣・縄】石見地区の1隻1航海当りの漁獲量は34.3kgで平年並み⇒平年を上回りました

【令和4年1月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ブリ、サバ類、マアジ	2,993トン	131%	67%	39.4トン	116%	63%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	—	—	—	—	—	—	—	—
	西郷	スルメイカ	2,406トン	34%	50%	75.2kg	42%	65%	▲
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	179トン	100%	77%	14.9トン	158%	107%	○
小型 底びき網	大田	アンコウ類、ソウハチ、アカムツ	167トン	78%	71%	852kg	105%	99%	○
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、スズキ	88.5トン	111%	79%	11.1トン	111%	81%	▲
	石見	サバ類、ブリ、マアジ	16.0トン	145%	96%	8.0トン	218%	137%	◎
	隠岐	スルメイカ	22.0トン	160%	99%	7.3トン	107%	66%	▲
釣り・縄	出雲	サワラ類	23.3トン	49%	53%	44.5kg	106%	94%	○
	石見	クロマグロ	17.1トン	40%	59%	32.3kg	98%	106%	○
	隠岐	カサゴ・メバル類	9.0トン	23%	45%	23.8kg	59%	79%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ